

2015年2月1日開催
第9回シンポジウムでのアンケートへの回答

本年2月の第9回シンポジウムも、おかげさまで参加人数も多く、今回も総じて評価が高く、アンケート調査でも好評を得ることができ、これも皆さまの積極的なご参加とご協力のおかげと感謝しております。ただし、毎回ごわずかですが厳しいご意見も当然承っており、これらにつきましては、少数意見ということでないがしろにするのではなく、これらの意見こそ重要と考え、今まで通り真摯に対処していく所存です。

アンケートの中には、本学会の主旨とは異なるご意見のために本学会からの回答として対応できないものもございます。そのためすべてにお答えしているわけではないことをまずはご承知おきください。しかし、このアンケートにお答えいただくことは、今後の学会運営やシンポジウム、セミナーの開催にとっても重要なものでありますので、より多くの方から闊達なご意見を今後も頂戴したいと思っております。

これらのアンケート結果への回答は、毎回学会開催後1～2か月以内に増田会長をはじめとする学会運営委員にて会合を開き作成しております。しかし、作成後から発表にはタイムラグがあり、次回のシンポジウム、またはベーシックセミナーでの回答の発表という形になっておりましたが、もっと早い時期に皆さまに告知するため、アンケートへの回答は要点のみ学会開催時に発表させていただき、その他はHP上に更新しております。

アンケートへの回答は、ご意見ご批判に対してのみ返答しておりますが、一方でご評価いただいたものや好意的なご意見はかなり多くいただいております。この場を借りて御礼申し上げます。

加えて、すでに周知されていることと理解しておりますが、本学会の方針や主旨、過去の講演で解説している内容などに対するご意見、ご質問への回答は、毎回同じような内容になってしまうため、ある程度まとめさせていただき、これもHP上に更新したいと考えております。したがって、学会参加前に本学会の方針や主旨をご理解いただくと共に過去のアンケート回答やシラバス、ホームページ掲載の「シンポジウム・ベーシックセミナーについて」、「臨床免疫検討会とは」、「技能講習 Q&A」などをできるだけご一読ください。

<アンケート結果の紹介>

○興味深かった講演

獣医療におけるバイオマーカーの現状	19
IV型アレルギーの診断 2014 改訂版	17
第 6 回臨床免疫検討会	17
NKT 細胞を標的とした癌免疫治療とバイオマーカー探索研究	12
症例報告	5

<技能講習および技能講習制度について>

○免疫学の分野を教わったばかりで、あまり得意ではなかったのですが、とてもわかりやすく、免疫学に興味をもてました。また参加したいです。

○とても分かりやすい内容で、学校の講義よりもしっかりと理解できました。

○自分も獣医師になってから試験を受けてみたいと思いました。

○試験はパスしても、基礎として本当に理解しているか疑問です。

ご指摘の通りです。ただし、学会での講演や講義、技能講習制度はあくまで自己の勉強や研鑽のひとつのきっかけでしかありません。これらの理解は、もちろん講義にてできるだけ理解を求めるとともに、ご自身の努力にて解決していただくものと考えております。

また、技能講習制度は、これを履修した獣医師が論理性と整合性のある系統だったアレルギー性疾患の診療を行う技術を習得することが目標であり、さらにその知識と診療技術を獣医業界全体に、そして次世代に伝達することを目指しております。知識の集積は、あくまでその一助であり、それが目標ではございません。そのため、試験問題もそのような観点から作成し、採点しております。が、ご指摘の通り基礎分野での理解の不足は、今回の試験結果からも表れておりますので、講義の内容も含め、なお一層の努力が必要と思います。

○面接試験について。初めてのことで、どのような準備をしたらよいのか皆目見当がつかず困惑してしまいます。対応策について、お力添えください。

面接試験は、面接官の質問に対して学術知識を駆使して論理的に返答できるかどうかを審査します。質問を素早く理解し、返答のポイントを判断して、持っている知識を盛り込んで簡潔に返答してください。支離滅裂で冗長な返答は評価されませんのでご注意ください。面接試験は先生方が普段からお持ちのアレルギー・免疫の知識を問うものですので、特別な受験準備は必要ありません。

1 人ずつの面接で正味 30 分ほどになりますが、質問がよくわからない場合は聞き直していただいて結構です。

また、外国人面接官の質問につきましては、必要な場合、学会長である増田先生が通訳を行います。可能な限り英語でご返答ください。

詳細は、本学会 HP およびメールにて告知させていただきました。

質問例：小動物の臨床現場で重要なアレルギーとは何を指しますか？

解答例：IgE による I 型過敏症反応とリンパ球によるIV型過敏症反応を指します。I 型過敏症は環境アレルゲンと食物アレルゲンに対して起こりますが、IV型過敏症は食物アレルゲンに対して起こります。それぞれ独立した過敏症反応であり、同調して起こりません。

<教育講演について>

「NKT 細胞を標的とした癌免疫治療とバイオマーカー探索研究」について

○はやく獣医学の場面でも広く使われて欲しいです。

○理解しづらかったです。

○教育講演の順番が逆の方が良かったと思います。

バイオマーカーについての知識に参加者内で差があるようでした。元々、人医分野での情報を得た後、獣医療の分野を考えることで、得られるものがあると判断したうえでのプログラムでしたが、ややハードルが高くなってしまいました。結果的に順序が逆の方が、より分かりやすかったと感じておりますが、バイオマーカーをすでにご理解の先生には、良い順序であると考えております。

<臨床免疫検討会について>

○大変興味ぶかく聞かせ参加できました。

○ディスカッションがとても楽しかったです。またあれば、次回も参加したいです。

○お話される順番も大事だと思いました。

今後も開催を考えておりますが、今回はあくまで試金石でしたので、更に内容などを考えていきたいと思っております。

<その他>

○遠くからの参加のため、最後のホワイトボード講義まで参加することが困難です。テーマが興味深いものでございますので、昼間の時間帯に開催していただけますと幸いです。又は、ホームページに記載していただけますと有難いと思います。

ご意見ありがとうございます。我々もたくさんの方にこの講義を聴いて頂きたいと思っております。が、今の時間的な制約の中では、あくまで懇親会での一つのテーマとして扱うしかない状況です。また、昼間の時間帯での開催もすでに検討しておりましたが、昼食や休憩、意見交換、展示ブースなどに使用される時間となりますので、この時間帯での開催は難しいと思われます。さらに、この時間帯ではむしろ参加できないという方もいらっしゃると思いますので、ここも問題となります。

この講義の目的は、懇親会での意見交換や議論をより活発にしたいというものです。少人数で、より近い距離で、臨場感のある講義ができ、そしてやり取りができます。

また、HP への掲載の件ですが、技能講習の DVD 撮影などでもお話しておりますが、公的な HP への記載となると、いろいろな制約が出来てしまいます。一つのご提案としましては、技能講習制度の一環として、あるいは教育講演として時間を設けることは今後可能と考えていますが、この形式では内容は一般的なものになってしまう恐れがありますので、今後検討させていただきます。

○討論は聞いていてとてもたのしかったので、また開いてください。できたらいいので、お弁当を出してください。コーヒーだけでなく紅茶も飲みたいです。

お弁当および紅茶の用意は、予算の都合上考えておりません。ランチョンセミナー開催の際は、お弁当の配布をしておりますが、こちらは各企業のご尽力とご協力によって行っています。

○メールで定期的に情報を発信してほしい。

学会運営上、免疫学に関するトピックを発信することは有用であるかと思いますが、これらの作業を行うのは事実上不可能です。以前にもお答えしましたが、動物アレルギー検査（株）にて、定期的に無料で資料を配布しておりますので、こちらをご利用ください。

<今後取り上げてほしい内容>

○OI 型、IV 型アレルギー 原因物質比較

○旧新薬を含めて、現在使用されている抗アレルギー剤の実効果のデータ。どの薬品がどれくらい効いてどのくらい使用されているかなど。

これらの項目につきましては、論文などもございますので、近い機会に取り上げさせていただきます。

○免疫療法の最新知見について

第8回ベーシックセミナーの教育講演および臨床免疫検討会にて取り上げます。

○症例報告に対して増田先生や他先生がコメントする形式のセミナー

技能講習履修修了の先生方も含め、このような形式で討論会などを考えております。

○アレルギーによる減感作療法のその後の展開

第8回ベーシックセミナーのランチョンセミナーにて取り上げます。

○免疫抑制剤について

教育講演の開催を考えております。

○自己免疫性疾患について

教育講演の開催を考えております。が、IMHA 以外の自己免疫疾患につきましては、IBD と同様、その病態や意義からやはり検討しなければいけないでしょう。

○リンパ球やマスト細胞、その他の細胞が病変部などで具体的に何をしているのかを理解できる講演

○副腎皮質ホルモンを始めとする免疫機能に作用する薬剤が、具体的にどのように作用するか

○口蹄疫のワクチンについて